

株式会社たまゆら

本社:大阪府枚方市南中振3丁目5-1  
TEL: 072-834-2221  
従業員数:220名(グループ全体・パートタイマー含む)  
(2024年4月現在)  
創業:1965年2月 設立:1974年7月  
主な事業内容:作業服・ユニフォーム・白衣・各種作業用品・各種介護用品等小売、縫製・加工、レンタルクリーニング事業等  
資本金:2,200万円  
売上高:60億円(2023年度実績)



JOB INFORMATION

正社員募集

「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見ての応募です」とお伝えください。



【給与】大学卒230,000円(固定残業代含む)※基本給:213,000円・短大卒223,000円(固定残業代含む)※基本給:213,000円・昇給年1回・賞与年2回

【勤務地】販売職:大阪府・京都府・奈良県下の店舗  
営業職:本社(大阪府枚方市)・南大阪支店(大阪市西成区)

【勤務時間】

■販売職:シフト制、実働時間(1日)8時間~12時間・年間総労働時間:2,294時間(備考:6:30~15:30(実働8時間・休憩1時間)、11:30~20:30(実働8時間・休憩1時間)、シフトによっては週に1度6:30~20:30(実働12時間・休憩2時間)あり)■営業職:固定時間制・標準労働時間制8:30~17:30(休憩:1時間)

【休日】販売職:週休2日制・有給休暇10日(※入社後すぐに10日を付与します)・休暇制度(年末年始休暇、慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇)営業職:隔週休2日制(土曜・日曜)、祝日(※月に1~2回、会社カレンダーによる土曜出勤あり)年間休日107日・有給休暇10日(※入社後すぐに10日を付与します)・休暇制度(GW休暇、夏季休暇、年末年始休暇、慶弔休暇、産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇)

【福利厚生】社会保険(健康保険・厚生年金・雇用保険、労働災害補償保険(労災))・退職金制度・従業員持ち株制度・再雇用制度・資格取得支援制度・トレーナー制度・生活応援一時金制度・会員制宿泊施設の利用制度

【連絡先】☎072-834-2221(人事総務部 西村)  
E-Mail:jinji@tamayura.co.jp

新卒採用を目的とした広報活動は、その年の内閣府提示の日程に準じます(例・広報活動開始は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降)。「在学中のみなさんが今年年生なのか」に応じて、時期によりお伝えすべき情報は変わります。詳細は採用担当に直接お問合せください。



倉庫やデザイン室、刺繍・印刷室を見学。

社員がいきいきとしている様子が印象的だ。

「仕事の主役は人です。優れた仕事着なら、働くモチベーションや団結力も上がり、職場の活性化や業績向上につながる。そんな感動と喜びを提供する企業を目指しています。」  
さらに、たまゆらは自然環境にも配慮した事業企画を考えている。近年、よしずや茅ぶき屋根などの需要が減少し、淀川水系や琵琶湖のヨシが放置される状況があり、刈って燃やしてもCO2が排出される。それに対して、ヨシを活用して生地をつくった。これは、大阪・関西万博の一部のユニフォームの生地に採用されて話題を呼んだ。他にもさまざまなプロジェクトを手がけるたまゆら。訪問を通じて、普段見かけるユニフォームの奥深さと、成長の理由に気づき、学生たちは新たな目標を得ることができた。



FASTNER.とは  
2011年に創刊した、京都の楽しみ方を学生目線で提案するフリーマガジン。

『FASTNER.』の学生が発見。

訪問してわかった「たまゆら」のすごさ

ココがスゴイ!

ココがスゴイ!

社員の声から生まれた1万円以下のスーツ

スーツが上下で9,878円(税込)、それが社員の声により製品化されたと聞いて、柔軟に新しい声を取り入れていく姿勢に感銘を受けました。社内の風通しのよさ、上司と社員の距離の近さがわかり、成長する会社の秘密を知ることができました。



山崎さん

「すぐほしい」に応える100種類の手袋



倉庫内の100種類もの仕事用手袋に圧倒されました。用途でお客様の必要とする手袋が異なること。また「仕事で欠かせない。すぐ代わりを」の要望に応えること。何より顧客ニーズに耳を傾け、安心と信頼感を獲得する、まさに仕事の本質を学ぶことができました。



早坂さん

学生が会社を訪問!

仕事着・ユニフォームの専門商社  
株式会社たまゆら



大阪・枚方市に本社がある

仕事着・ユニフォームの専門商社「たまゆら」を、学生フリーマガジン「FASTNER.」を編集する大学生が訪問。「会社の見え方がガラリと変わった」と驚く内容となった。

京都産業大学3年  
早坂 虹汰さん

京都産業大学3年  
山崎 奈波さん

管理本部 人事総務部  
マネージャー 部長  
にしむら さだあき  
西村 貞明さん

機能的と実用性を  
仕事着で追求する

株式会社たまゆらは、「働く人が必要とする」ユニフォーム・仕事着の専門商社だ。1965年の創業以来成長を続け、現在は年商60億円のスケールを誇る。大阪・枚方市にある本社を訪れたのは、たまゆらで人事を担当する西村貞明さんだ。  
まずは売り場のワークウェアの多彩さに目を見張る。世界的デザイナーであるコシノジュンコさんが手がけた仕事着は機能的にあふれている。洋服好きの早坂さんは「つなぎの作業着、カッコイイ。着たら気分が上がりそうです」と話す。  
一方で、スーツコーナーでは、就職活動中の山崎さんが驚きの声を上げた。「就職活動のために、とある専門チェーン店でスーツを購入したのですが、上下で3万円以上しました。でも、たまゆらでは1万円以下ですか!?!」。  
西村さんは答える。  
「これは新入社員の声をもとに開発したスーツです。かつてスーツは弊社で扱っていませんでした。でも、あるとき新入社員が『他店で売られているスーツが高すぎる』と嘆いていた。それを聞いて『スーツも仕事着だ』とビジネスチャンスに気づけたのです。」  
たまゆらが得意とする建築業界の仕事着では、動きやすさ・着心地のよさ・

丈夫さといった実用性を重視し、素材や縫製に活かされている。「このノウハウを、ビジネスマンの仕事着であるスーツに応用する」と発想。その結果、伸縮性と防水性に優れ、自宅で丸洗いができる高機能スーツの、小売価格で上下セット1万円以下での販売を実現した。このスーツは、たまゆらのものづくりの姿勢を示している。

ユニフォームで働く環境、ひいては社会を変えたい

また、たまゆらは法人営業、店舗、EC(オンライン)事業の3つの販売チャネルをもつ。法人営業では、地元ほか全国の企業に45万着ものユニフォームや白衣を販売している。全国に展開する多くの企業が、たまゆらのユニフォームを採用している。  
「ユニフォームには役割が2つあります」と西村さん。ひとつはコンビニの制服のように企業ブランドやスタッフ・アイデンティティを示すため。もうひとつは働く人の安全を守ること。たとえば高速道路の作業ユニフォームは蛍光色で目立たせ、建築現場の仕事着は動きやすさや防寒・熱中症などへのあらゆる配慮がなされている。  
「安全性と機能的性を備えたユニフォームは建設や保全工事、輸送や医療など社会インフラを支えるウェアのため、需要は続くでしょう。」  
山崎さんが今後の展望について尋ね